

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
栄養教育実習事前事後指導 Pre/Post-Guidance of Teaching Practice		1年・2年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(教職課程必修：栄養教諭二種免許)	栄養士フィールド教職課程履修者限定
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
栄養教諭論、栄養教育実習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
栄養士資格取得に必要な科目ならびに栄養教諭二種免許取得に必要な科目。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
(主) 駒場啓子 野中春奈 藤田 睦	担当教員の研究室	授業中に指示します。		授業中に指示します
授業の概要				
教育実習に臨むにあたって、栄養教諭として必要な教職に関する知識・技術の習得、および食と栄養の専門家としての基本的事項の理解と技術的事項を再確認する。また、栄養教育実習についての理解を深め、実習の目的や内容に習熟するとともに、指導案や実習日誌の書き方について学ぶ。実習終了後には、全体反省会や個別指導を通じて実習の成果を検証するとともにこれからの課題を確かめる。				
授業の目標				
①教育実習の内容についての理解を深め、その実践力を培うことができるようにすると同時に、自己の課題を見つけられるようにする。 ②教育実習の際の児童・生徒指導をできるようにすると同時に、自己の課題を見つけられるようにする。 ③教育実習を反省して、自己の課題を見つけられるようにする。				
授業の方法				
講義を交えた演習を中心とする。学生自らが課題をもち、その課題に向かって取り組んでいく。学生の疑問に対し、随時対応した授業内容としていく。				
学習の成果(学習成果)				
①教育実習(学習指導と児童・生徒指導の準備)の準備をすることができる。 ②教育実習を反省して、課題に対し改善をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	〈事前指導〉 ガイダンス 教職の専門性・教育実習の意義			(駒場・野中・藤田)
第2回目	教育実習の形態・方法・内容 (担当 駒場)			
第3回目	児童・生徒の食生活に関する課題と食に関する指導の必要性 (担当 駒場) *レポート：「児童・生徒の食生活に関する課題と食に関する指導の必要性」			
第4回目	児童・生徒の心理と食に関する指導の留意点 (担当 駒場)			
第5回目	食に関する指導の実際 (担当 藤田)			
第6回目	食に関する指導の評価 (担当 駒場)			

第7回目	教育実習上の留意点 (担当 野中)	
第8回目	学習指導案 (給食時間の指導) の作成① (担当 駒場)	
第9回目	指導案 (教科・特別活動・総合的な学習の時間) の作成② (担当 駒場)	
第10回目	模擬指導① 模擬授業② (担当 駒場 野中)	
第11回目	模擬指導、模擬授業の振り返りと改善 (担当 駒場 野中)	
第12回目	教育実習直前指導 実習に臨む態度 (担当 駒場)	
第13回目	教育実習直前指導 自己の課題を見つける (担当 駒場)	
第14回目	<事後指導> 教育実習の振り返りと実習の感想・意見発表 (担当 駒場) *レポート「教育実習を通して得られた成果と課題」	
第15回目	教育実習を通して得られた成果と課題の発表 (教育実習発表会) (担当 駒場 野中 藤田)	
事前・事後学習	模擬指導、模擬授業では教材研究をしっかりと行い、使用する媒体の準備をして臨むこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。出された課題を準備して授業に臨んでいる。授業に集中し、必要なことはきちんとノートにとる。不明な点があれば積極的に質問する。(詳細はガイダンス時に説明する。)
レポート	40%	第3回目と第14回目にレポートを課す。提出は次回の授業日。評価基準Sのレポートは、内容構成がしっかりしており、熟考された意見が述べられていること。(詳細はガイダンス時に説明する。)
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容 (態度含む)	40%	誰もが聞き取れるように、明瞭に大きな声で発表する。(詳細はガイダンス時に説明する。)
その他		
教科書と参考図書		
「教育実習の手引き」佐野日本大学短期大学 必要に応じて随時授業内にて指示。		
履修上の留意点・ルール		
<p>●実務経験 駒場 (職種：栄養教諭、職歴6年) 野中 (職種：管理栄養士、職歴16年) 藤田 (職種：管理栄養士、職歴12年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業への参加態度」に準ずる。遅刻厳禁。授業中の飲食は禁止。</li> <li>・携帯電話の使用は禁止 (受信、送信、その他使用)。緊急の場合は教員に申し出ること。</li> </ul>		